

一般社団法人国際再生医療普及協会  
 特定認定再生医療等委員会議事要旨

日 時：2024年9月11日（水）15：20～15：55

開催場所：Web/新丸の内ビル 11階会議室

	摘要	氏名	出欠	利益相反	
				医療機 関	委員会 設置者
1	分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家	石井 伊都子	○	無	無
		鈴木 邦子	○	無	無
2	再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者	齋藤 康	○	無	無
		落谷 孝広	×		
		寺井 崇二	×		
3	臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）	中林 正雄	×		
		竹本 稔 ※委員長	○	無	無
		佐野 明彦	×		
4	細胞培養加工に関する識見を有する者	木田 泰之	○	無	無
5	医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家	中村 智広	×		
6	生命倫理に関する識見を有する者	川上 祐美	○	無	無
7	生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者	林 邦彦	○	無	無
8	前7号に掲げる者以外の一般の立場の者	宮内 明子	×		
		中山 ちはる	○	無	無

※技術専門員：千葉県がんセンター緩和医療科 田口奈津子医師

配付資料（事務局受領年月日；2024年8月15日）

資料1 提出資料一覧\*1～33（事務局受領年月日；2024年8月15日）

資料2 チェックリスト

資料3 評価書\_技術専門員

\*別添参照

一般社団法人国際再生医療普及協会特定認定再生医療等委員会規則第6条第3項の定めにより、竹本委員長は議長となり、本委員会の開会を宣言し、本日の出席委員を報告した。ついで本委員会の審議に必要な法定の成立要件を充足している旨を述べた。

審査：新規

医療機関：医療法人社団 郁栄会 銀座エルディアクリニック

管理者：吉野 敏明

議題：脂肪由来間葉系幹細胞を用いた慢性疼痛の治療

結果：適

実施責任者である竹内医師より、本件について概要の説明が行われ、出席委員との質疑応答が行われた。

技術専門員（田口医師）による評価は以下のとおりであった。「事前指摘箇所をすべて加筆修正・回答いただくので、追加指摘事項はない。慢性疼痛に関して難渋している患者が多いので、可能性のある本治療法に期待したい。心因性の除外評価は難しいので、うつ評価を追加することで、効果評価時の根拠になる。局所投与の報告が多いが、全身投与に関して特別の技術も必要がないので、今後の効果を期待している。」

追加投与を行う場合の投与間隔、観察期間についてどのように考えているか確認がなされたが、基本的には単回投与であり、追加投与を行う際には、初回投与により有効性・安全性が確認され、患者本人が再投与を望む場合に限って検討する。また、初回投与より1年くらいの間隔をあけての実施を想定していると回答があった。

幹細胞の鎮痛効果の評価の視点より、鎮痛剤使用の記録は必須であろう。もちろん記録されると思うが、念の為、確認した。

詳細は主な質疑応答内容へ記す。

審議の結果、参加委員全員一致の「適」という意見であった。

以上